

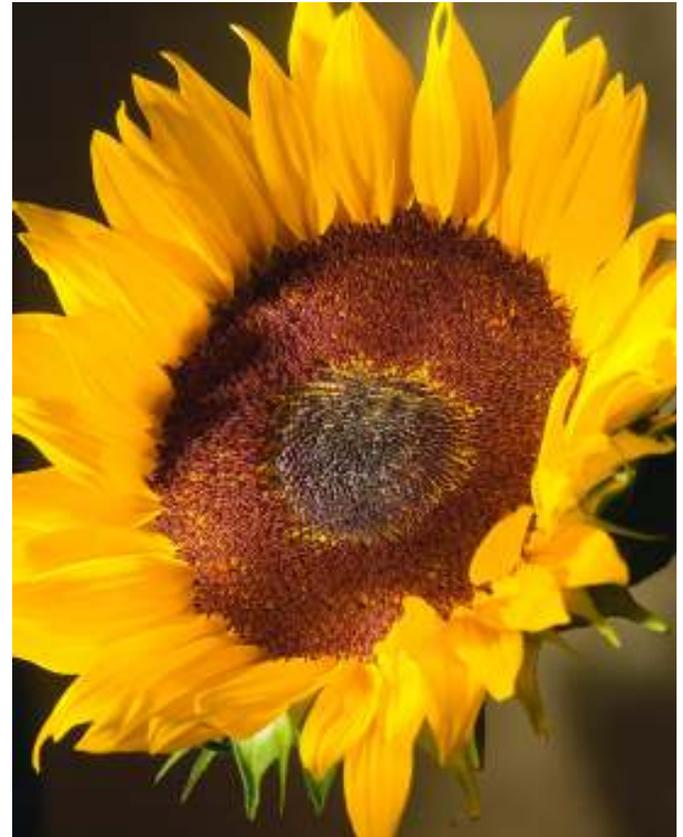
インマヌエル中目黒キリスト教会

2011年8月7日

聖日礼拝

ネヘミヤ記連講14
「礼拝共同体を作る」

ネヘミヤ記7章1-7節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネハミヤ記7章1-7節

1 城壁が再建され、
私かとびらを取りつけたとき、
門衛と、歌うたいと、
レビ人が任命された。

2 私は、兄弟ハナニと、
この城のつかさハナヌヤとに、
エルサレムを治めるように
命じた。
これは、ハナヌヤが誠実な人
であり、
多くの人にまさって神を恐れて
いたからである。

3 私はふたりに言った。

「太陽が高く上って暑くなる前に、エルサレムの門をあけてはならない。

そして住民が警備に立っている間に、門を閉じ、かんぬきを差しなさい。

エルサレムの住民のうちから、それぞれの見張り所と自分の家の前に見張りを立てなさい。」

4 この町は広々としていて
大きかったが、
そのうちの住民は少なく、
家もまだ十分に建てられて
いなかった。

5 私の神は、私の心を動かして、
私がおもだった人々や、
代表者たちや、民衆を集めて、
彼らの系図を記載するように
された。
私は最初に上って来た人々の
系図を発見し、
その中に次のように書かれて
いるのを見つけた。

6 バビロンの王ネブカデネザルが
引いて行った捕囚の民で、
その捕囚の身から解かれて上り、
エルサレムとユダに戻り、
めいめい自分の町に戻った
この州の人々は次のとおりで
ある。

7 ゼルバベルといっしょに
帰って来た者は、
ヨシュア、ネヘミヤ、アザルヤ、
ラアムヤ、ナハマニ、
モルデカイ、ビルシャン、
ミスペレテ、ビグワイ、ネフム、
バアサ。

イスラエルの民の人数は
次のとおりである。

説教

ネハミヤ記連講14

「礼拝共同体を作る」

ネハミヤ記7章1-7節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「私は、兄弟ハナニと、
この城のつかさハナヌヤとに、
エルサレムを治めるように
命じた。

これは、ハナヌヤが誠実な人で
あり、多くの人にまさって
神を恐れていたからである。」

(ネヘミヤ7：2)

はじめに：城壁完成後の課題

- ①エルサレム人口をどう増やすか
- ②礼拝のための役割の確認
- ③実際に礼拝を行うこと

A. 町の役人の任命（1節）

1. 城壁工事の完成：
扉を取りつけるセレモニー

2. 三役の任命

①門衛：門の出入の管理と
外敵侵入への対応(45節)

②歌うたい：礼拝音楽担当
(44,67節)

③レビ人：神殿管理担当
(43、46 - 60節)

B. エルサレム市長の任命 (2-3節)

1. 二名の市長：
半区の長(3：9、12)の上に立つ
2. ネヘミヤの弟のハナニ：
兄を動かした立役者
(1：2-3、5：14)
3. ハナヌヤ
 - ①信頼性 (硬い、ぶれない)
 - ②敬虔
(見えない神に従う生き方と行動)

4. 二人の職務

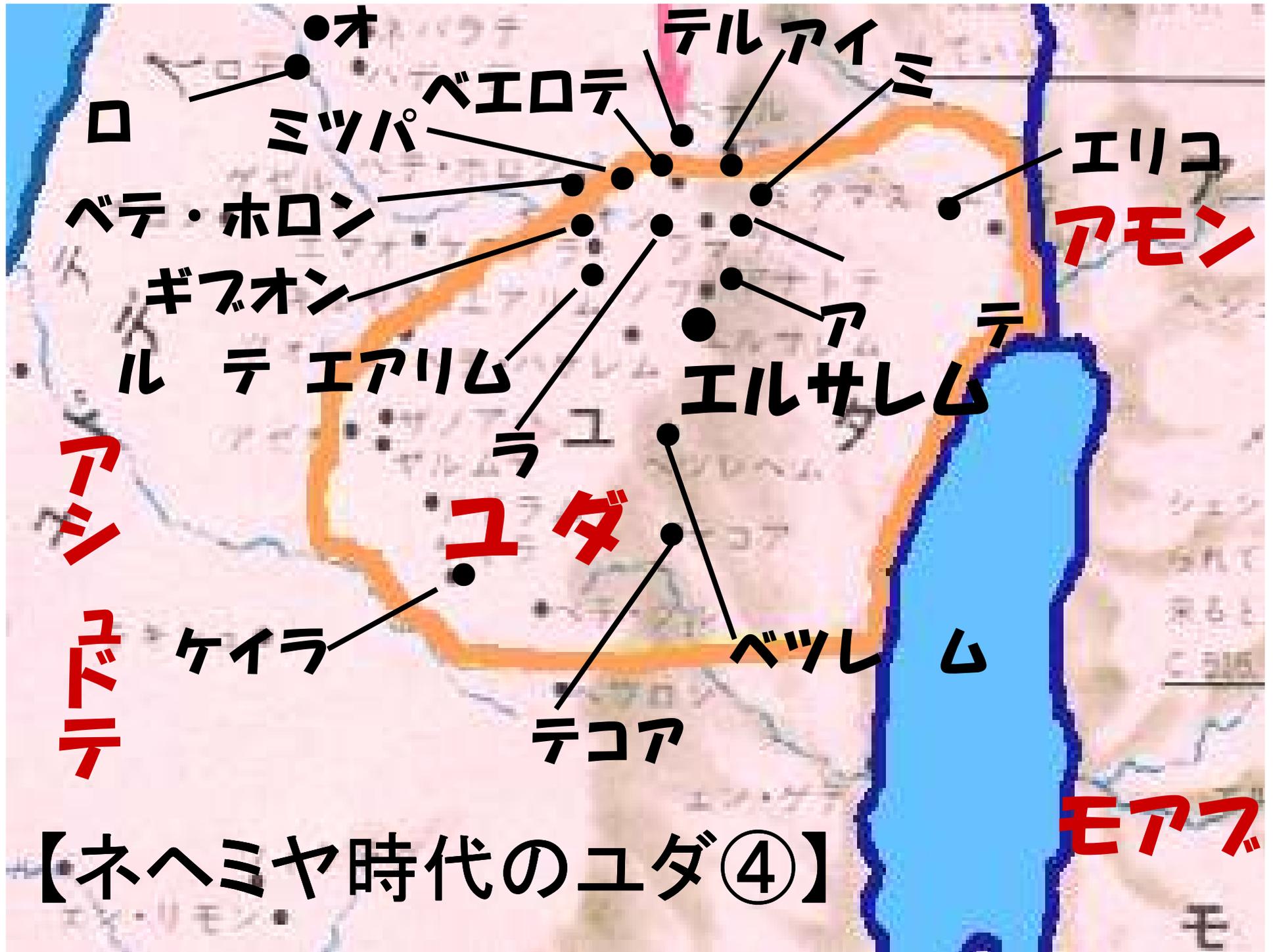
①エルサレムの統治

②城門の開閉

③自警団による見張り

C. 住民登録（4－7節）

1. エルサレム郊外から城内への
移動の基礎資料
（11：1、2、地図参照）



【ネヘミヤ時代のユダ④】

2. 住民登録(8-65節)

①系図が確認できないものは、
二等級市民(61-62節)

②特に祭司の家系は重要
(63-64節)

③礼拝担当者の確認と任命

3. 礼拝開始(7:71-8:1)

終わりに：

心から神を恐れつつ歩もう